

平成19年12月
富士電機機器制御株式会社
システム機器事業部

MICREX-SXシリーズ SPH SPH200 機能拡張のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、富士プログラマブルコントローラをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、MICREX-SXシリーズ SPH200において、ファームウェアのバージョンアップによる機能拡張を行いましたのでご案内申し上げます。

敬具

－ 記 －

1. SPH200変更内容

項目	対象形式	機能拡張項目
ファームウェア変更	SPH200 CPUモジュール NP1PH-08 NP1PH-16	(1) 構成チェック指定時間待ちモード

2. SPH2000変更に伴う注意事項

(1) 2007年10月の生産品より対応しました。なお、在庫消化後の自動切換えとします。

(2) 対応バージョン

ファームウェアバージョン「V45」以降にて対応します。

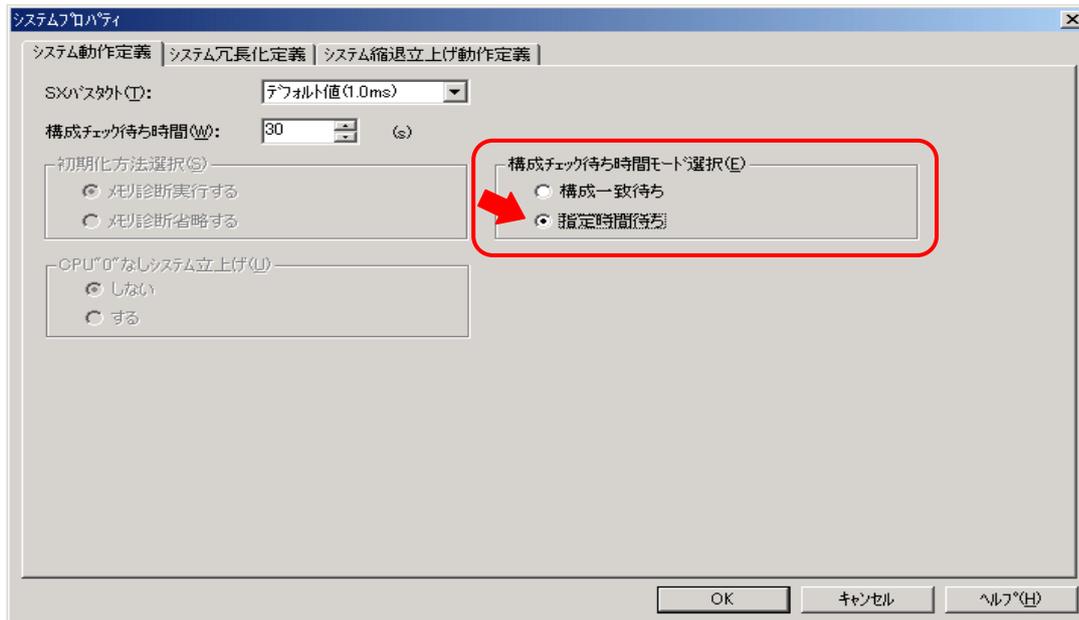
(3) 価格、および形式は、現行製品と同一で、変更はありません。

(4) 本機能を使用するには、プログラミング支援ツール SX-Programmerのバージョンアップが必要です。

- ・ Expert (D300win) (NP4H-SEDBV3) : V3.4.3.0以降
- ・ Standard (NP4H-SWN) : V2.3.4.0以降

3. 機能拡張項目の概要

システム動作定義を「指定時間待ち」モードにすることで、リモートマスタに接続されたスレーブ局の構成チェックを「構成チェック待ち時間」経過後に実施するようになり、リモートマスタに接続された立ち上がりに時間がかかるスレーブ局（POD等）があっても「縮退立ち上げなし」設定にてシステムを正常起動することができます。従来は「縮退立ち上げあり」設定で、軽故障起動となっていました。



「指定時間待ち」モードに設定すると、CPUモジュールの電源投入時の立ち上がり時間が「構成チェック待ち時間」分遅くなります。立ち上がりに時間のかかるスレーブ局に合わせて、「構成チェック待ち時間」を調整してください。

本設定のデフォルト指定は、従来品との動作互換を保つため「構成一致待ち」とします。

以上